

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	財源確保の強化			事業番号	36-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	企画部行政経営担当	古宮 雄二	経営企画課	黒石 正幸	

計 画 (Plan)

総合計画体系	自治力	まちづくり目標	5	みんなで考え行動するまち	
		基本政策	10	市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり	
		施策展開の方向	2	次代へつながる確かな行財政運営ができるまちをつくる	
		施策	36	健全で安定的な行財政運営	
予算事業名	歳入(諸収入)				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成17年度 ~		終了年度	-
関連法令等					
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画				計画期間	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	税収の低迷と必要経費の増加傾向により、新たな財源確保を図る必要がある。				
目的 (何をどうしたいのか)	健全で安定的な行財政運営を行うため、円滑な行政の基礎である歳入確保のための事業や工夫を強化します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	公共施設全般				
事業内容 (手段、手法など)	・市有財産の活用など、創意と工夫による新たな財源の確保に努めます。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	ネーミングライツ	継続実施	継続実施・更新		
	自販機設置場所の貸付け	継続実施・更新	継続実施・更新		
企業有料広告	継続実施	継続実施			
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	ネーミングライツ実施施設数	2施設	2施設	2施設	



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	第四次行財政改革推進計画に基づき引き続き新たな財源確保に取り組んでいく。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	ネーミングライツ	継続実施	
	自販機設置場所の貸付け	継続実施・更新	
企業有料広告	継続実施		
実施した取組の内容	ネーミングライツスポンサー契約(期間5年間)の進行管理を行い、民間事業者との自動販売機設置場所賃貸借契約の契約更新(14台)及び新規契約(1台)を行った。また、企業広告付きフロアマットの設置に取り組んだ。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	ネーミングライツ実施施設数	2施設	2施設

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		0	千円				千円		
内訳	国県支出金 ①	0	千円				千円		
	地方債 ②	0	千円				千円		
	その他特財 ③	0	千円				千円		
	一般財源 (a)-①-②-③	0	千円				0	千円	
国県支出金の内容									
コスト	その他特財の内容	受益者負担		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期			
		その他							
人件費	正規職員	0.1	人	865	千円		人		千円
	その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	0.1	人	865	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)		865	千円						
単位当たりコスト	対象数	市民		単位					
	定義								
	対象数	101,635	人						
	総事業費 / 対象数	9	円						
				単位					
				円					

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	新たなネーミングライツスポンサー契約の締結には至らなかったが、第四次行財政改革推進計画の行動計画どおりの進捗となった。民間事業者への自動販売機設置場所の貸付けについては新規設置は行ったものの、第四次行財政改革推進計画に掲げた効果額の確保には至らなかった。また、企業広告付きフロアマットを市庁舎に設置した。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	近隣市でも自主財源確保からネーミングライツ、企業有料広告の取組が実施されているが、他市において一律に行われている取組ではない。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	施設の命名権、公共施設の一部場所貸付け、企業有料広告により、継続的に新たな財源確保が図ることができた。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	自動販売機の設置場所の貸付や企業有料広告等により、少額の事務経費で着実な歳入増が図られている。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	歳入確保のため、対象施設の拡大及び事業展開の工夫に取り組んでいく必要がある。
次年度取組方針		第四次行財政改革推進計画の最終年度に向けて引き続き新たな財源確保に取り組んでいく。		
所管部長による総評		第四次行財政改革推進計画の総仕上げとして、計画に掲げた取組の着実な推進により、財源の確保に努めるとともに、全職員の創意と工夫により、さらなる取組の上積みを図っていく。		